

論 文

- MIS概念と設計手法の発展 立川 丈夫 (1)
- 長期波動と債務危機：アルゼンチンとブラジルを比較して
尾 関 修 (50)
- T・S・エリオットの学位請求論文『F・H・ブラドリの哲学における
認識と経験』について (4) 今 村 温 之 (69)
- 情報システムと組織 廣 根 加奈子 (122)

——ダウンサイジング環境における情報システムの動向——

- 平澤一郎 (99)
- ラテンアメリカと環太平洋経済の発展 尾関修 (121)
- ヤスパース哲学における限界状況論の教育的意味
——〈人間となる〉ということの問題に即して—— 朝倉哲夫 (19)
- 授業研究の現状と課題
——教授=学習過程研究と授業研究をめぐって—— 徳田英明 (144)
- T・S・エリオットの学位請求論文『F・H・ブラドリの哲学における
認識と経験』について (6), (7) 今村温之 (159)
- ロマン主義円環理論とM. エンデの Einer Langen Reise Ziel
(『ある長い旅の終着点』) 酒井明子 (208)
- シモーヌ・ヴェーユと1930年代のカトリック文学 井上正 (229)

第28巻 第1号

(平成6年10月1日発行)

論文

- システム運用のための技術変遷 立川丈夫 (1)
- NIESの優等生チリの景気循環 尾関修 (28)
- Understanding of Physical Fitness Terminology and
Exercise Habits Comparing Cases in America and Japan
有本守男, 木島晃, 村松茂 (49)
- ヘルダーと現代 多田真鋤 (77)

第28巻 第2号

(平成7年3月10日発行)

論文

- 馬喰町貸付役所における公金貸付の実態 飯島千秋 (1)
- ハンガリーにおけるGDPの国際比較と農業危機
キシユネ・パベルチャーク・アグネシュ 名島修三 (45)
- T・S・エリオットの学位請求論文『F・H・ブラドリの哲学における
認識と経験』について (3) 今村温之 (56)
- Information Superhighway と Computer Literacy
——米国教育事情瞥見—— 橋本貞雄 (100)
- シモーヌ・ヴェーユにおける〈悲劇〉について 井上正 (137)

一般貨物自動車運送業における運動者の賃金体系の考察

平野文彦 (47)

リスク・アプローチにおける内部監査人の利用

柳田清治 (100)

観光動機モデルとその妥当性の検証

梁春香 (117)

研究ノート

最近のハイデッガー研究文献について

多田真鋤 (1)

分散システムのアーキテクチャに関する一考察

——UNIX 利用を考える——

平澤一郎 (131)

メキシコの長期波動と経済成長

——ブラジルとの比較——

尾関修 (19)

第27巻 第1号

(平成5年10月30日発行)

論文

ソ連邦の消滅とその哲学的・宗教的意味 (そのII)

——宗教化の二つの方向性と一神教 (的なもの) への反省——

朝倉哲夫 (1)

資本主義・国民経済・世界経済

——T. センテス著『世界経済の転換』をめぐって——

板垣文夫 (55)

T. S. エリオットの学位請求論文

『F. H. ブラドリの哲学における認識と経験』について (5)

今村温之 (86)

私鉄産業における賃金の政策と決定

——私鉄総連の取り組みを中心に——

平野文彦 (140)

An Equilibrating Theory of the Japanese Business

Style of Cobweb Networks

山田晃久 (186)

第27巻 第2号

(平成6年3月10日発行)

論文

日本における特許制度の基礎と問題点

染野啓子 (1)

エレクトロニック・ダイレクト・マーケティングに関する一考察

——ダイレクト・マーケティングを中心として——

望月光男 (45)

石油産業における賃金の政策と決定

——製油所における労働内容との関係を中心に——

平野文彦 (70)

分散システムが現代企業に与える影響について

流行受容の規定因

——「男性の化粧」の場合——

中村雅子 (85)

第25巻 第1・2合併号 故前川良博教授追悼記念号

(平成4年3月18日発行)

論文

故前川良博教授追悼号刊行の辞

大澤一雄 (1)

「近代の超克」の思想

——高山岩男教授の所説をめぐって——

多田真鋤 (3)

情報ネットワーク・システムによるマーケティングの革新

望月光男 (26)

分散処理におけるシステム運用形態の一考察

錦織孜 (43)

基本単語と BASIC LEXICON の比較

橋本貞雄 (77)

監査リスク・モデルの検討

柳田清治 (100)

帰納推論の情報理論による定式化と最適化

松嶋敏泰 (120)

研究ノート

米国の大学における MIS 教育

島田達巳 (189)

故前川良博教授 業績・略歴

(246)

第26巻 第1号

(平成4年11月10日発行)

論文

山崎正一博士の「近代観」

多田真鋤 (1)

鉄鋼産業における賃金の政策と決定

——鉄鋼労連の取り組みを中心に——

平野文彦 (71)

ソ連邦の消滅とその哲学的・宗教的意味 (その1)

——西欧的近代主義における「異端」の崩壊——

朝倉哲夫 (23)

再論・ブラジルの長期波動と経済成長

尾関修 (49)

スペイン語の冠詞と身体名詞

佐藤惣平 (151)

紹介及び解釈

T・S・エリオットの学位請求論文『F・H・ブラドリーの哲学における認識と経験』について (2)

今村温之 (119)

第26巻 第2号

(平成5年3月18日発行)

論文

——その経緯と問題点—— 王子天徳 (1)
企業の多国籍展開要因に関する一考察 佐伯光彌 (38)

研究ノート

中華民国公司法の沿革

——特に民国55年から民国72年にいたる間の修正重点とその理由——
石井文廣 (63)

資料

アメリカにおけるレクリエーション教育
——大学教育のカリキュラムを中心として—— 村上一郎 (82)
村上和夫

第24巻 第1号

(平成2年12月1日発行)

論文

21世紀へ向けての新しい生き方・価値観・人間観の探究

——「人間性回復」, 「人間性実現」を求める新しい胎動——
朝倉哲夫 (1)

18世紀末プロイセン財政の危機 久保清治 (45)

経済的合理性における価値観
——経済的・社会的交換の企業経営原理への一試論—— 山田晃久 (77)

資料

INTRODUCTION—CONCEPTION OF
THE ECOLOGY OF INTERNATIONAL COMPETITION

Japan and America in the Global Economy 佐伯光彌 (127)

紹介及び解釈

T・S・エリオットの学位請求論文『F・H・ブラドリの哲学における
認識と経験』について (1) 今村温之 (111)

第24巻 第2号

(平成3年3月18日発行)

論文

システム設計法における条件適合アプローチ 島田達巳 (1)

マーケティング戦略における競争構造分析と
戦略的情報システムの利用について 望月光男 (41)

実現概念の検討 武智幹彦 (55)

研究ノート

資 料

- 香港の将来に関する中英協議 王子天徳 (106)
台湾の会社法 (中華民国公司法) 王子天徳 (127)
(1983年12月7日總統令修正公布) 石井文廣

第22卷 第2号

(平成1年3月18日発行)

論 文

- 三国間貿易契約から国際マーケティングへのネットワーク論的一考察
——取引契約実務例を中心として—— 山田晃久 (102)
メキシコの口語スペイン語にみられる冗語の“le”について
——特に ándale を中心に—— 佐藤惣平 (130)

資 料

- 香港特別行政区基本法草案
——意見を徴するための草稿—— 王子天徳 (1)
台湾の会社法 (中華民国公司法) 王子天徳 (33)
——1983年12月7日總統令修正公布—— 石井文廣

特別記事

- サービスに関する一考察 李 玉 節 (79)

第23卷 第1号

(平成1年12月1日発行)

論 文

- 日本型企业組織網の均衡化理論
——経済的・社会的交換の国際マーケティング・モデル—— 山田晃久 (1)
Edgar Ende の絵画が Michael Ende に与えた影響 酒井明子 (38)
シモーヌ・ヴェーユにおけるデカルト的自由意志
——社会的労働との関連から—— 井上 正 (63)

資 料

- 最近の大学生の肺活量について
——標準値とのズレを中心に—— 有本守男 (82)

第23卷 第2号

(平成2年3月17日発行)

論 文

- 香港の中国返還

- 最近のわが国自動車業界の北米進出を中心として——平野文彦 (1)
 アカウンティング・ダイナミックスの操作性を求めて
 ——モデルの開発を通して——内野明 (35)
 マスコミュニケーション史への一考察
 ——プリント・メディアの拡がりと大衆読書層の出現——中島純一 (75)
 メキシコにおける文字 x の発音について佐藤惣平 (107)
 シモーヌ・ヴェーユにおける〈象徴〉と〈実在〉井上正 (149)

研究ノート

A Study of English Words

——A Critical Analysis of Terms Found Contradictory
 in English Grammar——

橋本貞雄 (167)

臺灣排灣語研究 (1)

——句法篇——

李長信・曾思齊 (176)

第21巻 第2号

(昭和63年3月18日発行)

論文

職業道徳試論

小林達夫, 松本英二 (1)

マスコミュニケーション史への一考察 (II)

——コミュニケーションチャネルとしてのコーヒーハウスと Library——

中島純一 (59)

Quelques Notions sur l'Interlangue

——le cas des apprenants japoais——

臼井盛利 (82)

研究ノート

臺灣排灣語研究 (2)

——句法篇——

李長信・曾思齊 (96)

第22巻 第1号

(昭和63年12月10日発行)

論文

OAとシステム監査

大山政雄 (174)

七年戦争後のプロイセン財政と間接税収入

久保清治 (1)

商業労連における賃金決定と産別組織の機能

平野文彦 (192)

元治期の幕府財政

飯島千秋 (49)

M. Ende “Die Unendliche Geschichte” の意図せざる意図

酒井明子 (211)

判例研究

石井文廣 (32)

第20巻 第1・2合併号 横浜商科大学開学20周年記念号

(昭和62年3月18日発行)

開学二十周年記念号に寄せて

大澤一雄

論文

日本人の貯蓄行動

斎藤正 (1)

情報化の進展と職業倫理

前川良博 (21)

商法第二六五条違反の手形行為の効力

石井文廣 (39)

グラック『シルトの岸辺』について

——構造分析の一つの試み——

平林裕 (56)

販売管理論の研究対象領域に関する考察

望月光男 (109)

表見購売力に関する一研究

奈良充浩 (137)

分散処理におけるデータ・セキュリティ

平澤一郎 (164)

ω -star-free minimal sets の LANDWEBER の

階層に占める位置について

高橋信行 (179)

A Study of English Words

——An Analysis of Hearing Difficulties in English——

橋本貞雄 (205)

第2次世界大戦後わが国における体操教材の変遷

——小学校学習指導要領の分析——

鈴木英夫 (218)

THE EMERGENCE OF A MEDIEVAL ATOMIC PHILOSOPHY:
NICHOLAS OF AUTRECOURT AND ANTI-ARISTOTELIAN
ATOMISM

古川安 (245)

研究ノート

球面上の異常な図形

小林富郎 (263)

特別寄稿

会津における観光の発展史的考察

李玉麟 (276)

票據法上利得償還請求権之(成立要件)研究

趙書田 (80)

財務比率分析予測機能之研究

謝金賢 (293)

第21巻 第1号

(昭和62年11月30日発行)

論文

海外生産の展開をめぐる経営問題と人事・労務管理への影響

—A Proposal of Classifying Words Based on
Spelling, Pronunciation, and Meaning—

判例研究

橋本貞雄 (198)

石井文廣 (91)

第19巻 第1号

(昭和60年9月30日発行)

論文

男女雇用機会均等法及び

女子の労働保護規定改廃の意義と問題点

宮城邦彦 (1)

「不条理」の現在

—バタイユとカミュ, 試論—

宇田川 博 (92)

研究ノート

A Study of English Words

—A Classification of Words Newly Entered in 9,000 Words: A Supplement
to Webster's Third New International Dictionary—

橋本貞雄 (43)

Boscovich and the Atomic Theory

古川 安 (128)

現実の台湾文学 —陳映真—

岡崎 郁子 (23)

資料

糖尿病患者の体力について

有本守男 (79)

大学生の日常関心と大学の役割

—横浜商科大学学生実態調査を中心として—

平田博士 (138)

“An Empirical study of College Parts
of Students' Everyday Life”

村上一郎

村上和夫

第19巻 第2号

(昭和61年3月18日発行)

論文

情報システム部門の環境変化とその適応行動について

島田達巳 (1)

わが国における CAD / CAM の発展動向について

平澤一郎 (37)

スペイン語の冠詞 その総称的特徴について

—英語の冠詞との比較研究において—

佐藤惣平 (52)

研究ノート

A Study of English Words

—A Proposal of Adopting the Diacritical

Marks Instead of IPA for English Transcription—

橋本貞雄 (79)

Ervin Ernst *International Commodity Agreements—The System
of the international Commodity Market* 入江成雄 (359)

第18巻 第1号

(昭和59年9月30日発行)

論文

道德教育の改造

——道德教育における「教授=教化」と「感化」の問題——

朝倉哲夫 (1)

Japanese Multinationals and Industrial Adjustment—

Multinationalization of Japanese Firms as Reorganization

of Industrial Location

入江成雄 (71)

地方財政の安定化と効率化

久保清治 (23)

多角的視点の中の“Was”

——Go Down, Moses 試論——

平田博士 (43)

Chinese Alchemy: Its Origins and Development 古川 安 (95)

研究ノート

A Study of Words

——Shortening, Abbreviating and *Katana*——

橋本貞雄 (59)

第18巻 第2号

(昭和60年2月28日発行)

論文

道德教育と教師

——特に仏教的見地からみたそれらについて——

朝倉哲夫 (1)

Некоторые Вопросы по Структуре Международного
Разделения Труда СЭВ

名島修三 (97)

日本商業学の源流 (その二)

山崎 仁 (172)

内部労働市場形成の「制度的ルール」

——東京電力の人事・賃金制度をめぐって——

平野文彦 (215)

近世中期における幕府公金貸付の展開

——馬喰町郡代屋敷御貸付役所取扱い貸付金について——

飯島千秋 (26)

江戸場末町における窮民層の存在形態

——享和・文化期雑司ヶ谷町の事例——

大石庄一 (66)

研究ノート

A Study of English Words

| | |
|--|---------------|
| 松本武雄学長頌寿記念号に寄せて | 大澤 一 雄 |
| 豊かな先見性 ——祝辞にかえて—— | 竹 中 清之助 |
| 論 文 | |
| 自己とは何物ぞ ——自己の現象学序説—— | 朝 倉 哲 夫 (1) |
| 日本商業学の源流 (その一) | 山 崎 仁 (2) |
| 電力関連産業における労働組合組織と賃金要求の決定 ——その現状と問題点—— | 平 野 文 彦 (198) |
| 横浜における流通システムの特質 | 山 口 辰 男 (217) |
| 分散システムとデータ管理の重要性 | 平 澤 一 郎 (245) |
| Characterization of ω -Type Context-Free Languages by Means of Stack Run | 高 橋 信 行 (262) |
| 意志決定支援システムの概念をめぐって | 内 野 明 (282) |
| 国民経済の概念と方法 ——研究史的考察—— | 板 垣 文 夫 (308) |
| 語学・文学特集 | |
| 李白「夏日山中」について (研究ノート) | 今 原 和 正 (63) |
| 空海の生涯と文学論 | 岡 崎 郁 子 (24) |
| 日本語・英語の語彙研究 ——打撃・破壊・設置動詞—— | 小 川 晃 (71) |
| 英語構造・日本語構造 I (研究ノート) | 平 田 博 士 (89) |
| A Study of English Words ——Word Sequence in Group Compounds—— (研究ノート) | 橋 本 貞 雄 (105) |
| T・Sエリオット考 | 今 村 温 之 (131) |
| Signs and Terms of American Culture in <i>The Tooth of Crime</i> by Sam Shepard | 須 永 紫乃生 (139) |
| Una obrevacion sobre el <i>acento</i> y la <i>intensidad</i> dentro de la linguistica espanola : hacia una definicion cientifica de estos terminos | 森 本 栄 晴 (170) |
| 研究ノート | |
| 判例研究 | 石 井 文 広 (42) |
| 明治期の普通体操の研究 ——教材としての選定理由—— | 鈴 木 英 夫 (49) |
| 観光行動の成立過程に関する実証研究 II | 村 上 和 夫 (330) |
| 海外文献解題 | |

第16卷 第1号

(昭和57年12月20日発行)

論文

- 「量的拡大の生活」を支える近代的幸福観への反省
朝倉哲夫 (1)
- 打消助動詞、禁止及び受身の助動詞の適用範囲について
田仲益見 (27)
- コーポレート・コミュニケーション
宮原義友 (65)
- 市場経済と先物価格
入江成雄 (87)
- “The Bear” におけるフォークナーの「場」の感覚
平田博士 (122)

研究ノート

- 日本的オフィス・オートメーションの基盤
島田達巳 (139)
- J・グラックの散文詩集『大いなる自由』の構造分析試論
平林裕 (159)

学会記

- 「知的所有権における教育研究の
発展のための国際学会」に出席して
染野啓子 (61)

第16卷 第2号

(昭和58年3月31日発行)

論文

- 調整的対応としての日本企業の多国籍化
入江成雄 (1)
- 継続企業概念の検討
武智幹彦 (49)

研究ノート

- 銀行の役割
——社会主義計画経済諸国の場合——
齋藤正 (33)
- 観光行動の成立過程に関する実証研究 (I)
——“行きたい”観光地の選択要因の分類を中心にして——
村上和夫 (69)

A Study of English Words

- Portmanteau Words——
橋本貞雄 (95)

第17卷 合併号 松本武雄学長頌寿記念号 (昭和59年2月29日発行)

祝辞

書 評

宮原義友著「戦略型」営業幹部

久 田 友 三 (55)

第14巻 第2号

(昭和56年3月15日発行)

論 文

日本・E C貿易摩擦の構造と新展開

板 垣 文 夫 (1)

アダム・スミスの公債論

長谷川 貞 之 (31)

時宗名号の原初書体

服 部 清 道 (56)

管理会計の体系化

古 木 稔 (113)

コンピュータ利用と経営組織への影響について

島 田 達 巳 (136)

『企業的人間的側面』における賃金

平 野 文 彦 (179)

アメリカにおける会計監査生成史

柳 田 清 治 (201)

研究ノート

自主管理下のユーゴスラビアの銀行制度

齋 藤 正 (102)

資 料

株式会社の会計監査における監査区分の基準について

小 牧 久礼三郎 (217)

第15巻 第1・2合併号

(昭和57年3月15日発行)

論 文

最近における石油問題との関連でみた

国際経済の変化と日本経済の対応

入 江 成 雄 (1)

企業経営と消費者問題

奈 良 充 浩 (27)

システム・ダイナミックス手法による企業モデルについて

内 野 明 (75)

研究ノート

フィiscal・ポリシー論の意義と限界

久 保 清 治 (57)

プログラム開発とその生産性

平 澤 一 郎 (107)

港湾運送機能と都市交通体系の課題

富 田 功 (127)

近代フランス語の歩み

堀 川 喜一郎 (152)

索 引

商大論集第1巻～第14巻

巻 末

清末外交の一側面

——清仏戦争と招商局——

大澤 一 雄 (73)

世界景気循環の動向とコメコン成長循環

名 島 修 三 (82)

ロマン的魂と夢—詩の誕生—

——アルペール・ベガン——

堀 川 喜一郎 (178)

研究ノート

ω 型有限オートマトンについての若干の考察

——Buchi オートマトンと Muller オートマトン (1) ——

高 橋 信 行 (125)

移動を表す英米語群

——動詞中心の日英語比較——

小 川 晃 (149)

大学生の肥瘦意識と体格

有 本 守 男 (165)

第13巻 第2号

(昭和55年3月15日発行)

論 文

国家、国民経済と「外国貿易」範疇の関係についての分析

板 垣 文 夫 (1)

オルテガの大学論

今 村 温 之 (25)

労務管理の概念と現代的課題

平 野 文 彦 (69)

資 料

日清講話条約の効力

——台湾の帰属及び法的地位に関する国際法上の一視角——

王 子 天 徳 (57)

マーケティング・コンセプトについて

宮 原 義 友 (112)

書 評

「横浜フランス物語」について

堀 川 喜一郎 (120)

第14巻 第1号

(昭和55年12月20日発行)

論 文

コメコン経済統合論の変容

名 島 修 三 (1)

労基法における労働時間法制の問題点と今後の課題

宮 城 邦 彦 (19)

研究ノート

テオフィル・ゴーティエ ——その芸術の世界——

堀 川 喜一郎 (38)

| | |
|--|---------------|
| 学習の理論 (四) | 奈良 充 浩 (37) |
| オルテガの大学論 | 大久保 堅 二 (61) |
| 人間と労働 | 今 村 温 之 (91) |
| ——賃金管理の基礎理論を求めて—— | 平 野 文 彦 (109) |
| 有限オートマトンによる実数の定義可能性 | 高 橋 信 行 (132) |
| The Sound and the Fury の第一章における Image の二重性 | 平 田 博 士 (156) |
| 理科教育における「採集」の歴史的研究 (その三) | 安 東 久 幸 (176) |
| 資 料 | |
| 大学生の年間体力変動 | 有 本 守 男 (196) |

第12巻 第2号

(昭和54年3月15日発行)

論 文

| | |
|---------------------------|----------------|
| 世界景気循環の現局面と社会主義経済の成長循環 | 名 島 修 三 (1) |
| マチューリング・ソサイティにおける経営管理の一考察 | 奈良 充 浩 (15) |
| 越南嗣徳朝對土匪與黒旗軍政策之探討 | 大 澤 一 雄 (36) |
| 企業における電算室の運営と管理 | 平 澤 一 郎 (71) |
| ジェラルド・ド・ネルヴァルの芸術的生涯〔VI〕 | 堀 川 喜 一 郎 (86) |

研究ノート

| | |
|--------------------|---------------|
| 東西銀行制度の比較 | |
| ——若干の考察—— | 斎 藤 正 (55) |
| メキシコ経済の新段階と日墨関係の展望 | 大 林 多 吉 (113) |

第13巻 第1号

(昭和54年12月20日発行)

論 文

| | |
|------------------------------|---------------|
| マチュア, ソサエティにおける欧米の労務管理に関する研究 | |
| ——イギリス—— | 奈良 充 浩 (1) |
| アダム・スミスの植民地論 | 長谷川 貞 之 (28) |
| ディルタイの文学理論 | 今 村 温 之 (54) |
| EDPシステム化における経営診断について | 島 田 達 巳 (103) |

資 料

CŌBŌL による数値解析の一考察 平 沢 一 郎 (222)

理科教育における「採集」の歴史的研究 (その一)
——特に自然保護教育に関連して—— 安 東 久 幸 (236)

研究ノート

戦後スターリン時代におけるコメコン経済統合論 名 島 修 三 (107)

資 料

シュレージエン・ラントシャフトの設立にかんする史料
久 保 清 治 (144)

第11巻 第2号

(昭和53年3月31日発行)

論 文

第一次成長循環におけるコメコン経済 名 島 修 三 (1)

国際社会における憲法理念の趨勢 (その一)
——第二次大戦後の新憲法について—— 王 子 天 徳 (28)

クラウソンモデルの動態的考察
——消費選択理論の実証的研究—— 奈 良 充 浩 (55)

江戸場末町の住民構造
——慶応四年高田四家町の事例を中心に—— 大 石 庄 一 (80)

『野性の棕櫚』における交換作用 平 田 博 士 (104)

情報処理における入出力システムの地位と進化 島 田 達 巳 (122)

ジェラルド・ド・ネルヴァルの芸術的生涯 堀 川 喜 一 郎 (143)

理科教育における「採集」の歴史的研究 (その2)
——特に自然保護教育に関連して—— 安 東 久 幸 (168)

研究ノート

原価計算の再認識 古 木 稔 (186)

第12巻 第1号

(昭和53年12月20日発行)

論 文

ミーゼス研究 (四)
——ミーゼスと限界効用の法則—— 村 田 稔 夫 (1)

国際社会における憲法理念の趨勢 (その二)
——第二次大戦後の新憲法について—— 王 子 天 徳 (22)

商・経営学本質比較論

——商業学、経営学の歴史的発展段階とその相違性に関する研究——

第10巻 第1・2号 横浜商科大学開学十周年記念号

(昭和52年2月28日発行)

記念号の発刊に際して

松本武雄

論文

官公労組争議権の法理の史的展開

林 信 雄 (1)

国際慣習及び条約の国内法上における地位比較 (その一)

王 子 天 徳 (17)

会社の権利能力の目的による制限に関する一考察

石 井 文 広 (41)

政治哲学の現代的課題

磯 崎 健之助 (61)

わが国商業教育発達史概観 (一)

本 間 幸 作 (84)

システム監査の保守的側面と積極的側面

前 川 良 博 (97)

スターリンと社会主義経済統合

名 島 修 三 (112)

集権的計画経済の下における銀行制度の特徴

斎 藤 正 (126)

横浜地場貿易業の研究

山 口 辰 男 (178)

Commercial English より

International Business Communication へ

中 村 新 吾 (213)

研究ノート

文芸ノート：モリス・ヴァイツの方法 (その一)

今 村 温 之 (153)

書 評

渡辺二郎著『経営分析の考え方・すすめ方』

小 牧 久礼三郎 (170)

第11巻 第1号

(昭和52年11月30日発行)

論 文

社会主義経済における通貨の循環と調節のメカニズム

——ソ連の場合——

斎 藤 正 (1)

経営外部環境論

——海外主要国における最近の経営外部環境について—— 奈 良 充 浩 (23)

国際慣習及び条約の国内法上における地位比較 (その二)

王 子 天 徳 (46)

オルテガの大学論

今 村 温 之 (83)

William Faulkner's Light in August

——その光の中心点——

平 田 博 士 (162)

ジェラルド・ド・ネルヴァルの芸術的生涯

——ヴァロワ地方の思い出——

堀 川 喜一郎 (190)

ジェラルール・ド・ネルヴァルの芸術的生涯（2）

——ジェラルール・ド・ネルヴァルの人生についての年代記——

堀川喜一郎 (90)

研究ノート

東欧社会主義国の通貨・金融

——チェコスロバキア——

斉藤正 (22)

刑法改正案の死刑をめぐる論議と批判

——法務省と日本弁護士連合会の見解を中心として——

宮本英三郎 (40)

中国歴代首都考

王天徳 (55)

全部原価計算の基礎概念

古木稔 (118)

書評

「歴史と人間」を読んで

服部清道 (79)

T. キッシュ著 名島修三訳「開放経済と国際分業」

斉藤正 (84)

第9巻 第2号

(昭和51年1月25日発行)

論文

実践商業論の基礎理論

本間幸作 (1)

ミカエル研究

——ミカエルの経営監査と業務診断論——

奈良充浩 (33)

プロイセンにおける税制改革について

——1715年～19年「一般フーフェ税」の導入——

久保清治 (54)

手形抗弁

芝崎寛 (83)

学習の理論 (三)

大久保堅二 (93)

マーケティングと社会

宮原義友 (136)

中小企業におけるコンピュータ利用形態の選択

島田達巳 (156)

「死の床に横たわりて」の一考察

——「言葉と行為」の対立——

平田博士 (187)

ジェラルール・ド・ネルヴァルの芸術的生涯

——ジェラルール・ド・ネルヴァルの人生についての年代記——

堀川喜一郎 (206)

研究ノート

東欧社会主義国の通貨・金融

——ポーランド——

斉藤正 (119)

第7巻 第2号

(昭和49年4月30日発行)

論文

- 現代国家を観察する基準と国家の本質 磯崎 健之助 (1)
インフレ、物価及びその対策 本間 幸作 (21)
西漢監察制度の考察
——韓非思想に関連して—— 王 天徳 (46)
比較文化論 その一
——漱石の場合—— 實吉 晴夫 (86)
コメコン市場における国際価格形成制度をめぐる諸問題
名島 修三 (115)

研究ノート

- Ecological Studies in Pest Insects Confection 2—Report
安東 久幸 (152)
アメリカ英語成立過程における外国語の影響
小川 晃 (162)

第8巻 第1・2合併号

(昭和50年1月31日発行)

論文

- 商業史の科学性 本間 幸作 (1)
卸売機能再開発としてのマーチャンダイズマート (MM)
山口 辰男 (123)
卸売の販売店管理 宮原 義友 (144)
ジェラルド・ド・ネルヴァルの芸術的生涯
——ジェラルド・ド・ネルヴァルの人生についての年代記——
堀川 喜一郎 (161)

研究ノート

- 中国歴史学界における人物評価問題について 大沢 一雄 (43)
東欧社会主義国の通貨・金融
——ルーマニア—— 斉藤 正 (68)
東欧諸国の戦後経済復興期における
イデオロギーと国際経済関係の特徴
名島 修三 (84)

第9巻 第1号

(昭和50年7月5日発行)

- 証券市場における才取人の役割とその発生について 竹中 清之助 (1)

ジョン・ケネス・ガルブレイスの経済的、
政治的主張の研究（続2）

磯崎健之助（96）

第6巻 第2号

（昭和48年3月15日発行）

論文

原子力船運航者の原子力損害賠償責任とその保険 杉村敬一郎（1）

国際通貨危機の進展とその根因 斉藤正（16）

経営情報論（序） 中島照雄（97）

プロダクト・ライフ・サイクルと

プロダクト・プランニングについて 宮原義友（113）

キャパシティ・コストの利用による利益の改善 古木稔（132）

研究ノート

東欧人民民主主義革命の基本性格 名島修三（37）

比較文化論序説

——イザヤ・ペンダソン論—— 実吉晴夫（70）

第7巻 第1号

（昭和48年11月30日発行）

論文

ミーゼス研究（二）

——ミーゼスの人間行為学方法論—— 村田稔雄（1）

西欧における最近の経営外部環境と経営資産運用について

奈良充浩（22）

いわゆる試雇契約の法律的性質と本採用拒否についての一考察

宮城邦彦（45）

近代的自然観への反省

——現代における自然破壊・汚染の原点—— 朝倉哲夫（60）

貨幣的資料に基づく操業度差異分析

古木稔（141）

研究ノート

ヴェブレン著「不在所有制」 (訳) 油本豊吉（78）

東欧人民民主主義革命

——その階級の本質規定をめぐって—— 名島修三（102）

書評「商法総則商行為法講義」

芝崎寛（138）

学習の理論 (二)

——その素材について——

大久保 堅 二 (37)

ヤスパースと空海 (そのII)

——暗号と卍字の形而上学——

朝 倉 哲 夫 (62)

言語の変化について

中 山 直 次 (133)

アメリカに見る流通業者の傾向

——アメリカ商業視察の所感——

山 口 辰 男 (147)

投資決定の原理

中 沢 照 雄 (164)

研究ノート

貨幣を裸体にする

服 部 清 道 (82)

いわゆる『外国人のみた鎖国』をめぐって

——エンゲルベルト・ゲンベルの鎖国の是認に対する疑問と推理——

宮 本 英三郎 (90)

紹 介

ジョン・ケネス・ガルブレイスの経済的, 政治的, 社会的主張の研究 (統一)

磯 崎 健之助 (103)

第6巻 第1号

(昭和47年10月31日発行)

論 文

ミーゼス研究 (一)

——オーストリア学派とミーゼス——

村 田 稔 雄 (1)

西欧文明の破綻

——その一神教的排他性の問題——

朝 倉 哲 夫 (24)

古代における蓄銭政策について

秋 山 義 一 (42)

オペレーションズ・会計情報論

中 嶋 照 雄 (120)

研究ノート

歴史と人間

——断想——

安 彦 孝次郎 (61)

Ecological Studies in Pest Insects of Confection 1—Report

——Ecology in Adults of *Oryzophilus Surinamensis* L.——

安 東 久 幸 (136)

資 料

医療産業の諸問題

本 間 幸 作 (72)

紹 介

書 評

林信雄著「日本労働法論」

宮 城 邦 彦 (97)

第4巻 第2号

(昭和46年2月28日発行)

論 文

流通経済における消費者信用

向 井 鹿 松 (1)

明末における中国・越南関係の推移

大 澤 一 雄 (22)

学習の理論 (1)

——成長・成熟と経験・学習——

大久保 堅 二 (50)

研究ノート

現代日本における異生羝羊の世界

——空海と現代を結ぶもの——

朝 倉 哲 夫 (71)

管理会計システム

中 澤 照 夫 (91)

東西比較論管見 I

実 吉 晴 夫 (113)

市場細分化戦略

宮 原 義 友 (97)

第5巻 第1号

(昭和46年10月31日発行)

論 文

新根抵当立法素描

田 口 邦 雄 (1)

現代社会主義における所有形態と社会的利害関係

——いくつかの先行する所有形態とともに——

名 島 修 三 (20)

古代における商の一端

——日本霊異記を通して——

秋 山 義 一 (42)

東西比較論管見 II

実 吉 晴 夫 (80)

体 操 研 究 II

柳川英麿, 鈴木英夫, 甲斐 博, 有本守男, 門田昭三 (130)

紹 介

ジョン・ケネス・ガルブレイスの経済的・政治的・

社会的主張の研究

磯 崎 健之助 (64)

第5巻 第2号

(昭和47年3月1日発行)

論 文

清酒業経営の展望

小 牧 久礼三郎 (1)

収益性会計の基礎

古 木 稔 (12)

第3巻 第2号

(昭和45年3月31日発行)

論文

銀行会計における保守主義会計の後退と

経理基準による財務諸表の改正

上原 聡 (1)

アメリカ南部の綿プランテーションと黒人奴隷

小川 晃 (12)

ヤスパースと空海

——現存在と異生羝羊心——

朝倉 哲夫 (30)

アメリカ人の精神構造(二)

野口 彦治 (48)

生物教育の史的展望

——特に生物教科書の生活学習の分析を通して——

安東 久幸 (109)

マーケティング情報システム

宮原 義友 (118)

研究ノート

むなしいことば

——大学問題にかかわるつれづれごと——

大久保 堅二 (68)

新刊紹介

中野好夫著「人間の死にかた」

森 泰吉 (99)

阿部利夫著「東南アジア——世界の歴史18——」

大沢 一雄 (102)

中村敏雄著「近代スポーツ批判」

甲斐 博 (105)

第4巻 第1号

(昭和45年12月20日発行)

論文

借家人の失火と火災保険

南出 弘 (1)

社会主義経済における擬似循環について

名島 修三 (16)

日独労働運動の史的展望と異質性

宮本 英三郎 (33)

大学における語学教育

大林 多吉 (50)

Further Observations on two mosaic

Strains of *Mirabilis jalapa* L

Benso Kanna (117)

研究ノート

近世農村の表情

——女性の地位——

服部 清道 (55)

わが国における商の形成

秋山 義一 (65)

太平洋戦争下の証券市場

竹中 清之助 (78)

統計についての考察と所感と疑問

木山 英一 (92)

——国税徴収法53条を素材として——

マーケティング意志決定のための市場調査
貨幣について

古代における市の発達

中世史におけるドイツの商とハンザ同盟

蓮月尼遺稿『ふるつかのきつね』

J. タララアとJ. G. ホイッチャ

アメリカ人の精神構造(一)

研究ノート

1960年代のオーストラリア経済の成長要因

南 出 弘 (44)

宮 原 義 友 (62)

安 原 米四郎 (81)

秋 山 義 一 (92)

宮 本 英三郎 (106)

服 部 清 道 (124)

森 泰 吉 (142)

野 口 彦 治 (156)

竹 中 清之助 (174)

第3巻 第1号

(昭和44年8月20日発行)

論 文

適法行為による損失に対する補償

田 口 邦 雄 (1)

アメリカ合衆国憲法の修正経過に見る憲法運用の
事態適応性

磯 崎 健之助 (14)

社会主義経済の内在的矛盾にかんする一考察

名 島 修 三 (51)

Orient と Okcident 比較思想論の試み

——思想形成の地盤——

実 吉 晴 夫 (96)

フェデリーコ・ガルシア・ロルカとその劇的生涯

大 林 多 吉 (132)

日英両語における修辞学的類似点

小 林 淑 哉 (162)

体 操 研 究 I

——頸椎の伸展についての考察——

柳 川 英 麿 (162)

研究ノート

独占禁止法の未来

染 野 啓 子 (68)

書 評

「呉晗批判前週第一輯」

「朱元璋評価問題彙編」

大 沢 一 雄 (75)

新刊紹介

梅原猛・橋本峰雄・藤沢令夫編「哲学のすすめ」

朝 倉 哲 夫 (90)

相沢忠洋著「岩宿の発見」

服 部 清 道 (92)

菅原正博著「マーケティング情報システム」

宮 原 義 友 (94)

横浜商大論集 第1巻～第29巻 総目次

第1巻 第1号 開学記念号

(昭和42年7月31日発行)

| | |
|------------------------------------|-----------|
| 横浜商大論集創刊に際して | 松本武雄 |
| 思想・信条をめぐる労働法上の諸問題 | 林信雄(1) |
| 上杉鷹山とその藩政 | 安彦孝次郎(29) |
| 疑問随想 | 木山英一(50) |
| 奈良朝の錢貨政策 | 秋山義一(56) |
| 草双紙作者柳水亭種清 | |
| ——桜沢堂山・人とその作品—— | 服部清道(88) |
| 明治十年代における日本人のベトナム認識について | 大沢一雄(109) |
| ルカーチとコルニユのヘス研究 | 畑孝一(118) |
| 法規管理における組織上の問題 | |
| ——アメリカ型企業組織の評価について—— | 染野啓子(145) |
| 内部監査人の資格要件 | 中村稔(162) |
| Arthur Miller: Death of a Salesman | 野口彦治(177) |
| 中学・高校における英語教育の問題点と今後の方向 | 小林淑哉(210) |

第1巻 第2号

(昭和43年2月29日発行)

論 説

| | |
|--------------------|----------|
| 或る農村の生態診断試案 | 服部清道(1) |
| 古代における銀錢の流通について | 秋山義一(55) |
| 研究開発管理の一課題 | |
| ——研究開発業種の有効化について—— | 染野啓子(68) |

資 料

| | |
|---------------------|---------|
| 内部監査機能に関する意見書仮案について | 中村稔(89) |
|---------------------|---------|

第2巻 第1・2合併号

(昭和43年12月25日発行)

論 文

| | |
|---------------------|----------|
| 企業の合理化再編成と労使関係 | 林信雄(1) |
| 保険契約の告知義務について | 岩本啓治(28) |
| 保険金に対する物上代位のあり方について | |